

2018年11月7日
凸版印刷株式会社

電子チラシサービス「Shufoo!」、天気に合わせて広告を自動配信

株式会社マピオンの提供する環境データマートと連携し、希望に応じたエリアへ天候や気温に合わせた広告を Shufoo!内にて自動配信できるサービス「Shufoo! 気象ターゲティング広告」を提供開始。

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子眞吾)が運営する国内最大級の電子チラシサービス「Shufoo!(シュフー)」(*1)は、Shufoo!アプリ内での気象連動広告「Shufoo! 気象ターゲティング広告」の配信を2018年11月7日より開始します。

本サービスは、グループ会社である株式会社マピオン(*2)による、気象や交通状況等のエリアごとに常に変化する情報や、人口統計などのジオグラフィックデータ等の各種地域環境データを提供する「環境データマート」(*3)の情報と連携。定常的で精度の高い情報の自動配信を可能にしました。



■背景

現在、デジタル広告において、消費者の状況に応じてより適切な広告を配信するターゲティング広告が求められています。その中で地域ごとに日々刻々と変化する天候や気温という気象条件に応じた広告配信に対するニーズが高くありました。特に、近年の温暖化や局所的なゲリラ豪雨の増加などをはじめとした気候の変動をうけ、変化する気象に連動した情報配信が求められています。

従来、エリアごとに刻々と変動する気象に対応した広告を配信することは、運用負担が高く現実的なものとは言えませんでした。しかし今回、気象の変化に応じて自動で配信を行い、運用の負担を軽く且つ最適なタイミングで、希望のエリアに広告配信することが可能になりました。

また、Shufoo!は家計を握る主婦に対してチラシという形でコンテンツを提供し、ユーザーはそのチラシを能動的に閲覧し日々の購買行動に繋げています。そのチラシを閲覧しているユーザーに気象条件に応じた最適なタイミングでの広告配信サービスを Shufoo!アプリ内で開始することで配信する広告の効果も高めることができます。

■特徴

Shufoo! 気象ターゲティング広告には、これまでにない以下の特徴があります。

- ① 常に変動する気象に応じて自動配信するため、運用負荷を軽くし、最適なタイミングで配信可能
- ② ターゲティング可能な最小単位は 1km メッシュで、必要に応じて自由に配信エリアの設定ができる
- ③ 購買意欲の高い Shufoo!ユーザーに対して配信するため広告効果が高い

■サービスの利用イメージ

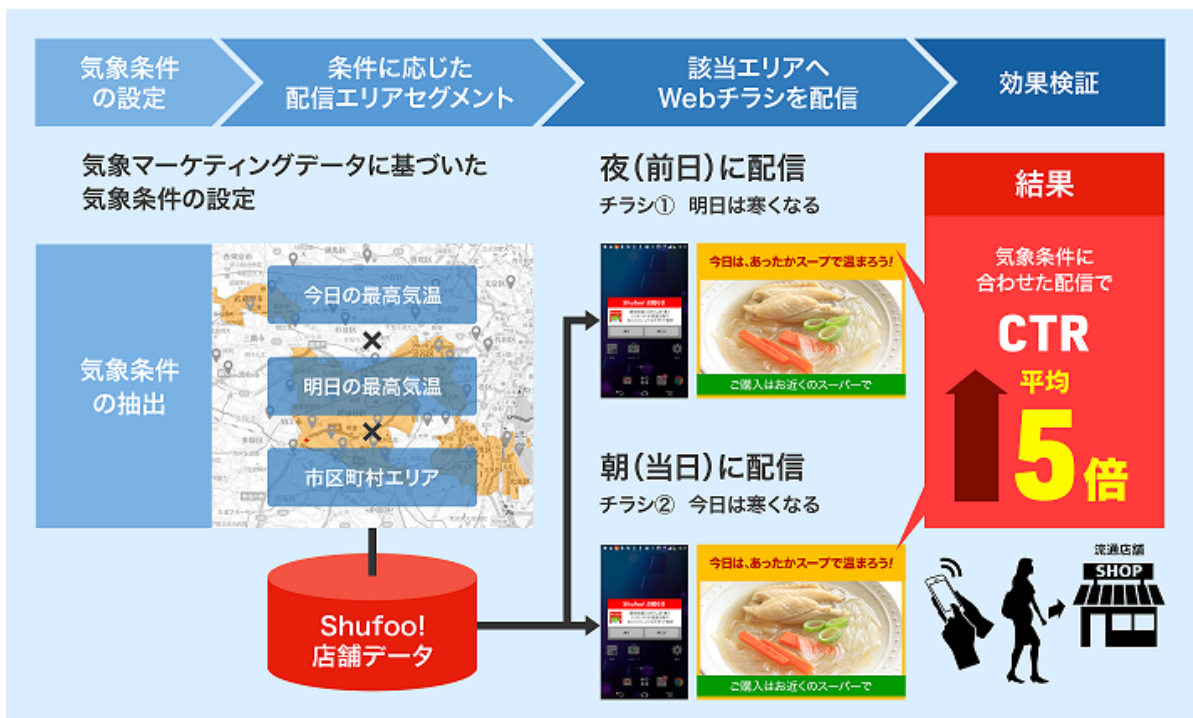


- ・Mapion 環境データマートから気象データを取得。
- ・Shufoo! DMP(*4)に蓄積したユーザー一人ひとりの買い物行動エリアなどで配信対象をセグメント化。
- ・設定された気象条件に応じて、Shufoo!アプリ内において自動で広告を配信。

■事前実証実験での事例

<実証実験> 2017年冬 メニューWEB チラシ

前日との気温差-5度の予報が出た際に手動での配信設定を実施。



■ターゲット企業

食料品、化粧品、衣料、家電製品などに加え、流通やサービス業など気象により購買行動に影響があると考えられるあらゆる企業。

・流通小売業

スーパー、ドラッグストア、ホームセンター、家電店、衣料品店など

・メーカー

飲料、食品、日用品、化粧品など

・ほか

外食サービス、飲食宅配サービス、ネットスーパー、娯楽施設など

■サービス価格

・1 インプレッションあたり 4 円

・最低出稿金額 50 万円から

■今後の展開

凸版印刷は、「Shufoo! 気象ターゲティング広告」の拡販に取り組み、2018 年度に 500 万円、2019 年度 1,200 万円の売り上げ獲得を目指します。また今後も、株式会社マピオンの環境データマートを活用した新サービスの開発を行い、Shufoo!のさらなる価値向上を図ります。

※1 「Shufoo!」について

凸版印刷が 2001 年 8 月より運営を開始し、20～40 代の女性を中心に利用されている国内最大級の電子チラシサービス。大手流通各社、地域主力スーパーなど約 3,800 法人、約 112,000 店舗が参加。PV 数は月間 3.8 億 PV、ユニークユーザー数は月間 1,100 万(2018 年 10 月現在)となっています。チラシの閲覧回数や閲覧部分のデータを収集・分析するマーケティング機能も備えています。また、生活者は、PC に加え、携帯電話やデジタルテレビ、拡大するスマートフォンやタブレット端末など様々なデバイスから日本全国の電子チラシを閲覧することができます。・PC <http://www.shufoo.net>

・携帯 <http://mobile.shufoo.net>

・iPhone <http://itunes.apple.com/jp/app/id373909230?mt=8>

・iPad <http://itunes.apple.com/jp/app/id373911706?mt=8>

・Android <https://play.google.com/store/apps/details?id=com.toppan.shufoo.android>

※2 「株式会社マピオン」について

1997 年から運営している日本最大級の地図検索サービス「Mapion」を運営する凸版印刷のグループ会社。高頻度の地図データ更新と視認性の高いデザインで、正確で美しい地図「Mapion」を運営し、日本全国の地図検索、旅行や観光地情報を提供するほか、地図情報と関連性の高いコンテンツを中心に広告事業及び地域情報サービスを展開しております。

・会社概要 <http://corporate.mapion.co.jp/>

※3 「環境データマート」について

気象や交通状況等のエリアごとに常に変化する情報や、人口統計などのジオグラフィックデータ等の各種環境データをマピオンが集約し、各企業や DMP 事業者、広告事業者に向けて最適なフォーマットとして提供するもの。提供したデータを活用することで、環境変化に応じた広告配信や、企業のプライベート DMP との連携による環境ごとのユーザーの行動把握なども可能となり、企業のマーケティング活動を高精度化できます。

※4 「Shufoo! DMP」について

「どのエリアのどんなチラシを閲覧したか」、ユーザー毎の Shufoo!利用ログを蓄積・分析した「日常買い物行動圏」や、「閲覧店舗カテゴリ」などのデータを保持しています。保持しているデータを活用して、買い物意欲の高い主婦を効率的にターゲティングするセグメント化を実現します。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。